

日時 平成27年10月23日(金) 6校時
 児童 5年4組 男16名 女13名 計29名
 指導者 日影 新之介

1 個人課題 学び合ったことをもとに自分の考えを表現する児童の育成

～キーワードを位置付けた板書作りを通して～

2 単元名 すぐれた表現に着目して、物語のみりょくを伝え合おう

教材名 大造じいさんとガン

3 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに「なまえつけてよ」において、登場人物の性格や心情、登場人物同士の関わりをとらえながら読む学習に取り組んだ。この学習を通して、心情を表している表現や、出来事や行動による関わり合いの変化について叙述をもとに読もうとする態度が育ってきている。しかし、叙述から登場人物の相互関係や心情、場面の様子を読み取ること、学級全体で学び合い深めたことを自分の言葉で書き表すことは十分に身に付いているとはいえない。

このことから、本単元では、根拠を明らかにして登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の言葉で表現する力を伸ばすことが必要であると考える。

(2) 単元について

- ・本単元は「心情や場面の様子を味わいながら読み、効果的に用いられている表現について、自分の考えをまとめ伝え合うこと」を主なねらいとする。
- ・本単元は、「大造じいさんとガン」の魅力伝え合う活動に向けて、心情や場面の様子を表す表現、情景を描いた表現など叙述をもとに読み進める学習と、物語の優れた表現について伝え合う活動により、読むことや書くことの能力や態度を養うことをねらいとしている。
- ・本時に関わる指導事項は「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」である。

(3) 指導計画(全7時間)

- ・第一次 学習の見通しをもつ。 1時間
- ・第二次 心情表現、情景描写を読み取り、表現について自分の考えをまとめる。 5時間(本時4/5時間)
- ・第三次 読み取ったことをもとに物語の魅力を伝え合う。 1時間

4 本時の指導(5/7時間)

(1) 目標 「大造じいさん」の心情と響き合っている描写の効果を考えながら、最も印象に残った魅力的な情景描写を紹介することができる。

〈読む能力〉

(2) 具体の評価規準

観点別評価目標	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (支援の手立て)
描写の効果を考えながら、最も印象に残った魅力的な情景描写を書きまとめることができる。	情景描写の効果を理解し、自分が最も魅力的と考える描写を、いくつかの根拠をもとに書きまとめている。	情景描写の効果を理解し、自分が最も魅力的と考える描写を書きまとめている。	板書を手がかりに、情景描写と大造じいさんの心情との響き合いを確かめさせる。

(3) 個人課題や共通課題との関わり

指導にあたっては、物語文において効果的に用いられている心情表現、情景描写を中心に読み取ったり、印象に残った表現を自分の言葉で書き表したりする活動を繰り返し行っていく。叙述をもとに考えたことを自分の言葉で書きまとめられるように、次のような手立てを工夫する。

- ① キーワードを板書に位置付ける。
 - ・ 心情の変化と響き合う表現など、大事な言葉を板書しておき、児童の学び合いを残し学習の手がかりにできるようにする。
- ② 根拠をもった読み方を身に付けさせる。
 - ・ 叙述をもとに登場人物の性格や境遇、状況を把握し、場面の情景の移り変わりとともに変化する心情についてとらえさせる。
- ③ 魅力カードに印象に残った表現をまとめる。
 - ・ 効果的に用いられている心情表現、情景描写を読み取り、自分が印象に残った表現をカードにまとめ、それぞれが感じたことを伝え合う活動をする。

大造じいさんとガン

椋 鳩十

課

大造じいさんの残雪に対する心情と情景との
ひびき合いをとらえよう。

情景描写・・・

人物の心情とひびき合うようにえがかれた風景や
場面の様子の描写

ガンが取れそうだ わくわく

一 秋の日は、美しくかがやいていました。

今度こそはうまくいくぞ 嬉しさ

二 あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこ
んできました。

絶対打ち取ってやる 決意

三 東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。

正々堂々と戦おう すっきり
ひきょうな手をしなくてよかった

四 ある晴れた春の朝

白い花心もすっきり

らんまんらんまんとさいいたスモモの花が、その羽にふれ
て、雪のように清らかに、はらはらと散りました。

白 心も清らかに

印象に残った表現（理由とその効果）

三 情景表現

東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。

「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」と言った大造
じいさんの気持ちとその通り表していると思
ったから選びました。

真っ赤に燃えた空が、残雪を今回で必ず討ち
取ってやるという、大造じいさんの熱い決意が
より伝わってきます。赤でなく、真っ赤とい
うところが効果的だと思います。

指導展開

一 前時までの学習内容を想起する。

三分

○前時までは、心情表現を読み取り、場面ごとの大造じい
さんの心情を把握したことを想起させる。

二 学習課題を把握する。

三分

○大造じいさんの心情と響き合う表現を見つけ、印象に残
った表現をまとめるという本時の学習課題を把握させ
る。

☆情景描写を読み視点とし、登場人物の心情を効果的に
表している表現の工夫を見つけることを確認し、学習の見
通しをもたせる。（視点二）

三 場面ごとの情景描写を確認する。

五分

○一人読みを行い、場面ごとの情景描写を見つけサイドラ
インを引かせる。その後、全体で情景描写を確認する。

四 印象に残った情景描写を選び、響き合う心情を考える。

七分

○四つの情景描写から一つを選択し、ノートに視写をする。
その後ノートの文にサイドラインを引きながら、響き合
う心情を書き込んでいく。前時までの場面ごとの大造じ
いさんの心情を踏まえて考えさせる。

五 情景描写を全体で考える。

十三分

○自力解決で考えた響き合う心情について発表させ、全体
で深め合う。大事な言葉を板書に位置付けながら、心情
との響き合いについて確かめていく。

☆自分が選択していない表現についても、友達の発言を聞
いて考えたことを発表できるようにする。（視点二）

六 学び合ったことをもとに、魅力をカードにまとめる。

十二分

○学び合ったことをもとに、自分で選んだ情景描写につい
て、選んだ理由とどんな効果があるかを自分の言葉でま
とめさせる。

■「大造じいさん」の心情と響き合っている描写の効果を考
えながら、最も印象に残った魅力的な情景描写を書きま
とめている。（ノート・学習シート）

★板書やノートを使って学び合ったことをもとに考えを表現
させる。

七 次時の予告をする。

二分

○次時は、魅力カードを完成させることを確認する。

★個人課題に関わって ☆共通課題に関わって

■評価（評価方法） ○指導の手立て（留意点）